

附属書

附属書 1

分類および表示のまとめ

附属書 1

分類および表示のまとめ

注記 1： 危険有害性情報のコードについては附属書 3（第 1 節）でさらに説明されている。危険有害性情報のコードは参照の目的だけに使用される。これらは危険有害性情報の一部ではないし、その代わりに用いるべきではない。

注記 2： 明確さを提供し、表示を実際に行う人を支援し、さらに GHS および UN モデル規則の下での分類や表示システムの比較を可能にするために、輸送の危険有害性クラス、区分および絵表示を表 A1.1 から A1.30 に含めた。ただし、これらの表では UN モデル規則の分類や表示の記載は提示する目的にだけあることに注意すべきである。輸送の目的では UN モデル規則に記載されている分類や表示の規定を使用しなければならない（GHS の第 1.4 章 1.4.10 も参照のこと）。

注記 3： GHS の危険有害性の絵表示は、赤枠に白地に黒のシンボルで、1 つの頂点で正立させた正方形で示される。輸送の絵表示（通常 UN モデル規則では標札とされている）は、UN モデル規則第 5.2 章 5.2.2.2 および下表 A1.1 から A1.30 に示されているように、対照的な色の背景に表示されるか、必要に応じて点線または実線の境界線をもたなければならない。一部の危険有害性区分では、シンボル、番号および境界線が黒ではなく白で示されることがある。そのような代替が利用できる場合は、以下の関連する表に示されている（表 A1.2、A1.3、A1.5、A1.6、A1.12、A1.15 および A1.17 を参照のこと）。

A1.1 爆発物（判定基準は第 2.1 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
爆発物	1	要求され ない		要求され ない	危険	爆発物	H209 H210 ^b H211 ^b
	2A	1.1			危険	爆発物	H209
		1.2					
		1.3					
		1.5					
		1.6					
	2B	1.4			警告	火災または飛散 危険性	H204
	2C				警告	火災または飛散 危険性	H204

^a UN モデル規則では、(*) は隔離区分番号の場所を、(**) は区分の場所を示す。爆発物が副次危険性の場合には空欄とする。

^b 起爆に敏感な爆発物またはその敏感さに関する十分な情報が入手できない爆発物に関する追加の危険有害性情報（第 2.1 章 2.1.3 参照）。

A1.2 可燃性ガス（判定基準は第 2.2 章を参照のこと）

分類				表示				GHS 危険 有害性 情報 コード	
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分		UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報		
可燃性 ガス	1A	可燃性ガス		2.1		 または 	危険	極めて可燃性の高いガス	H220
		自然発火性 ガス						極めて可燃性の高いガス	H220
								空気に触れると自然発火するおそれ	H232
		化学的に不安定なガス						極めて可燃性の高いガス	H220
								空気が無くても爆発的に反応するおそれ	H230
		A	極めて可燃性の高いガス					H220	
	B		圧力および/または温度が上昇した場合、空気が無くても爆発的に反応するおそれ	H231					
		1B		要求されない	絵表示なし	要求されない	警告	可燃性ガス	H221
2									

^a UN モデル規則では、自然発火性ガス、化学的に不安定なガス（A および B）はその燃焼性によってクラス 2、区分 2.1 に分類される。

A1.3 エアゾールおよび加圧下化学品（判定基準は第 2.3 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
エアゾール (2.3.1)	1	2.1		 または 	危険	極めて可燃性の高いエアゾール 高压容器：熱すると破裂のおそれ	H222 H229
	2				警告	可燃性エアゾール 高压容器：熱すると破裂のおそれ	H223 H229
	3	2.2	絵表示 なし	 または 		高压容器：熱すると破裂のおそれ	H229
加圧下化学 品 (2.3.2)	1	2.1	 および 	 または 	危険	極めて可燃性の高い加圧下化学品：熱すると爆発のおそれ	H282
	2				警告	可燃性の加圧下化学品：熱すると爆発のおそれ	H283
	3	2.2	 または 	 または 		加圧下化学品：熱すると爆発のおそれ	H284

A1.4 酸化性ガス（判定基準は第 2.4 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
酸化性 ガス	1	2 ^a			危険	発火または火炎助長のおそれ；酸化性物質	H270

^a UN モデル規則では、酸化性ガスは主要なガスの危険性にしたがってクラス 2 に分類され、クラス 2 の輸送絵表示が示される。さらに酸化性の副次危険性にしたがって区分 5.1（円上の炎）の輸送絵表示が割り当てられる。

A1.5 高圧ガス（判定基準は第 2.5 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
高圧 ガス	圧縮ガス	2.2			警告	高圧ガス；熱すると爆発のおそれ	H280
	液化ガス			または		高圧ガス；熱すると爆発のおそれ	
	深冷液化ガス					深冷液化ガス；凍傷または傷害のおそれ	H281
	溶解ガス					高圧ガス；熱すると爆発のおそれ	H280

^a UN モデル規則では、この絵表示は毒性または可燃性ガスでもある高圧ガスには要求されていない。これらの場合、代わりに該当する毒性または可燃性ガスの絵表示が使用される。

A1.6 引火性液体（判定基準は第 2.6 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
引火性 液体	1	3			危険	極めて引火性の高い液体および蒸気	H224
	2			または		引火性の高い液体および蒸気	H225
	3				警告	引火性液体および蒸気	H226
	4	要求されない	絵表示なし	要求されない		可燃性液体	H227

A1.7 可燃性固体（判定基準は第 2.7 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
可燃性 固体	1	4.1			危険	可燃性固体	H228
	2				警告		

A1.8 自己反応性物質および混合物（判定基準は第 2.8 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
自己反応 性物質 および 混合物	タイプ A	4.1 タイプ A		(輸送が許可 されないで あろう) ^b	危険	熱すると爆発の おそれ	H240
	タイプ B	4.1 タイプ B	 	 および該当 する場合 	危険	熱すると火災ま たは爆発のおそ れ	H241
	タイプ C と D	4.1 タイプ C および D			危険	熱すると火災の おそれ	H242
	タイプ E と F	4.1 タイプ E および F			警告	熱すると火災の おそれ	H242
	タイプ G	タイプ G	絵表示なし	要求されない	注意喚起 語なし	危険有害性情報 なし	なし

^a UN モデル規則では、タイプ B の物質または混合物に副次危険性がある場合には、区分番号または隔離区分番号を示さずに、区分 1.1、1.2 または 1.3 に対する輸送絵表示も使用しなければならない。タイプ B については、UN モデル規則に基づく特別規則 181 条が適用される（所管官庁の許可による爆発物ラベル適用除外。詳細は UN モデル規則第 3.3 章を参照のこと）。

^b 試験された包装容器での輸送は許可されないであろう（UN モデル規則第 2.4 章 2.4.2.3.2.1 参照のこと）。

A1.9 自然発火性液体（判定基準は第 2.9 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
自然発火性 液体	1	4.2			危険	空気に触れると 自然発火	H250

A1.10 自然発火性固体（判定基準は第 2.10 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
自然発火性 固体	1	4.2			危険	空気に触れると 自然発火	H250

A1.11 自己発熱性物質および混合物（判定基準は第 2.11 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
自己発熱性 物質および 混合物	1	4.2			危険	自己発熱；火災のおそれ	H251
	2				警告	大量の場合 自己発熱；火災のおそれ	H252

A1.12 水反応可燃性物質および混合物（判定基準は第 2.12 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
水反応可燃 性物質およ び混合物	1	4.3			危険	水に触れると自然発火 するおそれのある可燃 性ガスを発生	H260
	2				危険	水に触れると可燃性ガ スを発生	H261
	3				警告		

A1.13 酸化性液体（判定基準は第 2.13 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
酸化性液体	1	5.1			危険	火災または爆発のおそれ；強酸化性物質	H271
	2				危険	火災助長のおそれ；酸化性物質	H272
	3				警告		

A1.14 酸化性固体（判定基準は第 2.14 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
酸化性固体	1	5.1			危険	火災または爆発のおそれ；強酸化性物質	H271
	2				危険	火災助長のおそれ；酸化性物質	H272
	3				警告		

A1.15 有機過酸化物（判定基準は第 2.15 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性 情報	
有機過 酸化物	タイプ A	5.2 タイプ A		(輸送が許可されない であろう) ^b	危険	熱すると爆 発のおそれ	H240
	タイプ B	5.2 タイプ B	 	 または  および該当する場合 	危険	熱すると火 災または爆 発のおそれ	H241
	タイプ C および D	5.2 タイプ C および D		 または 	危険	熱すると火 災のおそれ	H242
	タイプ E および F	5.2 タイプ E および F			警告	熱すると火 災のおそれ	H242
	タイプ G	タイプ G	絵表示なし	要求されない	注意喚起 語なし	危険有害性 情報なし	なし

^a UN モデル規則では、タイプ B の物質または混合物に副次危険性がある場合には、区分番号や隔離区分番号を示さずに、区分 1.1、1.2 または 1.3 に対する輸送絵表示も使用しなければならない。タイプ B については、UN モデル規則に基づく特別規則 181 条が適用される（所管官庁の許可による爆発物ラベルの適用除外。詳細は UN モデル規則第 3.3 章を参照のこと）。

^b 試験された包装容器での輸送は許可されないであろう (UN モデル規則第 2.5 章 2.5.3.2.2 参照のこと)。

A1.16 金属腐食性（判定基準は第 2.16 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
金属腐食性	1	8			警告	金属腐食のおそれ	H290

A1.17 鈍性化爆発物（判定基準は第 2.17 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害 性区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
鈍性化 爆発物	1	3		 または	危険	火災、爆風または飛散危険性；鈍性化剤が減少した場合には爆発の危険性の増加	H206
	2				危険	火災または飛散危険性；鈍性化剤が減少した場合には爆発の危険性の増加	H207
	3	または		警告			
	4	4.1		または 		警告	火災の危険性；鈍性化剤が減少した場合には爆発の危険性の増加

^a UN モデル規則では、液体の鈍性化爆発物はクラス 3 に分類され、固体の鈍性化爆発物は区分 4.1 に分類される。

A1.18 急性毒性（判定基準は第 3.1 章を参照のこと）

分類			表示					GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分		UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
急性 毒性	1、2	経口	2.3			危険	飲み込むと生命に危険	H300
		経皮					皮膚に接触すると生命に危険	H310
		吸入					吸入すると生命に危険	H330
	3	経口	または		または 	危険	飲み込むと有毒	H301
		経皮	6.1				皮膚に接触すると有毒	H311
		吸入	吸入すると有毒				H331	
	4	経口	要求され ない		要求され ない	警告	飲み込むと有害	H302
		経皮					皮膚に接触すると有害	H312
		吸入					吸入すると有害	H332
	5	経口	絵表示 なし			警告	飲み込むと有害のおそれ	H303
		経皮					皮膚に接触すると有害のおそれ	H313
		吸入					吸入すると有害のおそれ	H333

^a UN モデル規則では、毒性ガスは区分 2.3 に分類され、毒性物質は（UN モデル規則で定義されているように）区分 6.1 に分類される。

A1.19 皮膚腐食性/刺激性（判定基準は第 3.2 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
皮膚腐食性/ 刺激性	1 1A,1B,1C	8			危険	重篤な皮膚の薬傷 および眼の損傷	H314
	2	要求され ない		要求され ない	警告	皮膚刺激	H315
	3		絵表示 なし		警告	軽度の皮膚刺激	H316

A1.20 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性（判定基準は第 3.3 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険有害性 クラス	GHS 危険有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
眼に対する 重篤な損傷性 /眼刺激性	1	要求され ない		要求され ない	危険	重篤な眼の損傷	H318
	2/2A				警告	強い眼刺激	H319
	2B		絵表示 なし		警告	眼刺激	H320

A1.21 呼吸器感作性（判定基準は第 3.4 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
呼吸器 感作性	1、 1A ^a 、1B ^a	要求され ない		要求され ない	危険	吸入するとアレルギー ー、喘息または呼吸困 難を起こすおそれ	H334

A1.22 皮膚感作性（判定基準は第 3.4 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
皮膚 感作性	1、 1A ^a 、1B ^a	要求され ない		要求され ない	警告	アレルギー性皮膚反応 を起こすおそれ	H317

A1.23 生殖細胞変異原性（判定基準は第 3.5 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
生殖細胞 変異原性	1、 1A、1B	要求され ない		要求され ない	危険	遺伝性疾患のおそれ（他の 経路からのばく露が有害で ないことが決定的に証明さ れている場合、有害なばく 露経路を記載）	H340
	2				警告	遺伝性疾患のおそれの疑い （他の経路からのばく露が 有害でないことが決定的に 証明されている場合、有害 なばく露経路を記載）	H341

A1.24 発がん性（判定基準は第 3.6 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
発がん性	1、 1A、1B	要求され ない		要求され ない	危険	発がんのおそれ（他の経路 からのばく露が有害でない ことが決定的に証明されて いる場合、有害なばく露経 路を記載）	H350
	2				警告	発がんのおそれの疑い（他 の経路からのばく露が有害 でないことが決定的に証明 されている場合、有害なば く露経路を記載）	H351

A1.25 生殖毒性（判定基準は第 3.7 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区 分	UN モデ ル規則ク ラスまた は区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
生殖毒性	1、 1A、1B	要求され ない		要求され ない	危険	生殖能または胎児への悪影響のおそれ（もし判れば影響の内容を記載する）（他の経路からのばく露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害なばく露経路を記載）	H360
	2				警告	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い（もし判れば影響の内容を記載する）（他の経路からのばく露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害なばく露経路を記載）	H361
	追加区分 授乳に対す るまたは授 乳を介した 影響		絵表示 なし		注意 喚起語 なし	授乳中の子に害を及ぼす おそれ	H362

A1.26 特定標的臓器毒性－単回ばく露（判定基準は第 3.8 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデ ル規則ク ラスまた は区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
特定標的 臓器毒性 －単回ば く露	1	要求され ない		要求され ない	危険	臓器の障害（もし判れば影響を受ける全ての臓器を記載する）（他の経路からのばく露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害なばく露経路を記載）	H370
	2				警告	臓器の障害のおそれ（もし判れば影響を受ける全ての臓器を記載する）（他の経路からのばく露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害なばく露経路を記載）	H371
	3				警告	呼吸器への刺激のおそれ または 眠気またはめまいのおそれ	H335 H336

A1.27 特定標的臓器毒性－反復ばく露（判定基準は第 3.9 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則ク ラスまた は区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
特定標 的臓器 毒性 －反復 ばく露	1	要求され ない		要求され ない	危険	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（もし判れば影響を受ける全ての臓器を記載する）（他の経路からのばく露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害なばく露経路を記載）	H372
	2				警告	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（もし判れば影響を受ける全ての臓器を記載する）（他の経路からのばく露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害なばく露経路を記載）	H373

A1.28 誤えん有害性（判定基準は第 3.10 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
誤えん 有害性	1	要求され ない		要求され ない	危険	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ	H304
	2				警告	飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ	H305

A1.29 (a) 水生環境有害性、短期（急性）（判定基準は第 4.1 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
水生環境 有害性、 短期 （急性）	急性 1	9		 および 	警告	水生生物に非常に強い毒性	H400
	急性 2	要求され ない	絵表示なし	要求されない	注意喚起語 なし	水生生物に毒性	H401
	急性 3					水生生物に有害	H402

^a UN モデル規則では、区分急性 1 に関して、環境有害物質は区分 9 に分類され、クラス 9 の輸送絵表示と環境有害物質輸送絵表示の両方を付けなければならない（UN モデル規則第 5.2 章 5.2.1.6 および第 5.3 章 5.3.2.3 参照のこと）。ただし当該物質が UN モデル規則でカバーする他の危険有害性がある場合には、クラス 9 の輸送絵表示は、該当する危険性に適用される輸送絵表示に置き換えられ、環境有害物質絵表示は要求されない。

A1.29 (b) 水生環境有害性、長期（慢性）（判定基準は第 4.1 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
水生環境 有害性、 長期 （慢性）	慢性 1	9		 および 	警告	長期継続的影響によつて水生生物に非常に強い毒性	H410
	慢性 2				注意喚起語なし	長期継続的影響によつて水生生物に毒性	H411
	慢性 3	要求されない	絵表示なし	要求されない	注意喚起語なし	長期継続的影響によつて水生生物に有害	H412
	慢性 4					長期継続的影響によつて水生生物に有害のおそれ	H413

^a UN モデル規則では、区分慢性 1 および 2 に関して、環境有害物質は区分 9 に分類され、クラス 9 の輸送絵表示と環境有害物質輸送絵表示の両方を付けなければならない (UN モデル規則第 5.2 章 5.2.1.6 および第 5.3 章 5.3.2.3 参照のこと)。ただし当該物質が UN モデル規則でカバーする他の危険有害性がある場合には、クラス 9 の輸送絵表示は、該当する危険性に適用される輸送絵表示に置き換えられ、環境有害物質絵表示は要求されない。

A1.30 オゾン層への有害性（判定基準は第 4.2 章を参照のこと）

分類			表示				GHS 危険 有害性 情報 コード
GHS 危険 有害性 クラス	GHS 危険 有害性 区分	UN モデル 規則クラス または区分	GHS 絵表示	UN モデル 規則 絵表示 ^a	GHS 注意 喚起語	GHS 危険有害性情報	
オゾン層 への有害性	1	要求されない		要求されない	警告	オゾン層を破壊し、健康および環境に有害	H420

